

Workflow

小林精機の5つのStepから垣間見えるのは、
 長年積み上げてきたものづくりへの『こだわり』。
 お客様のご要望に高レベルの技術、開発力、管理力でお応えするため、
 小林精機は日々研鑽を重ねています。



Step1 受注

部品加工のソリューションを提案

Step1 受注

部品加工のソリューションを提案



[営業本部・営業技術部]

複雑な加工形状、特殊な材料、高精度が必要な加工など、お客様が抱える部品加工の様々な課題を切削加工のプロ集団が解決のお手伝いをします。

当社では、三次元CADの導入をはじめ、最新のネットワーク環境に対応し、よりスムーズなやり取りが可能に。更なる効率化・高品質化に取り組んでいます。

営業本部ではオンライン面談などIT化が進んでも、お客様との繋がりは大切にしています。これまで以上に、より密なお打合せを心がけており、多くのお客様から信頼をいただいています。



綿密な打合わせでお客様の課題の解決策をご提案



三次元CAD/CAMによる設計開発



業務システム開発



生産計画の微調整でより精度の高い計画を立案

Step2 生産計画

多品種少量生産対応のDXを推進

[管理部]

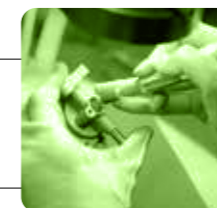
自社に適応した業務システムを自社開発したことにより、DXを推進中。材料手配から生産個数、工程、納期まで、生産現場への細かな作業指示をサーバー上で処理。

生産現場では、より細かな人員配置や生産スケジュールの微調整を行うことで、多品種少量生産から量産まで、毎月6,000件以上の注文の正確かつスピーディーな処理が可能となっています。



Step3 加工

多様な設備と技術力であらゆるニーズに対応



[製造部]

ISO9001の導入と製造管理システムの活用により、独自の一貫生産体制を確立しています。CNC自動盤、NC旋盤、マシニングセンタなど多様な設備を揃え、あらゆるニーズに応えられる体制を整備しています。

取り扱える材料の種類も幅広く、ステンレスやアルミ、真鍮等の様々な市販材から、ダイカストや鋳物の異形素材2次加工まで生産技術力で柔軟に対応。新素材にも積極的に対応します。

また、7軸制御AI協働ロボットを導入するなど、生産の効率化に向けた様々な取り組みを行っています。



7軸制御AI協働ロボット



機械ではできない微細な加工は技術者が仕上げる



製造部の半数以上が技能検定2級以上を取得

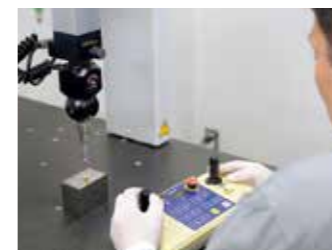
Step4 検査

高品質を保証する厳正な検査体制



[品質保証部]

3次元測定器で、平面的な検査から複合的で難易度の高い検査が可能となっています。また新たに蛍光X線分析装置を導入。加工現品の寸法精度確認はもちろん、材質確認もより高いレベルで品質保証を提供します。



3次元測定器による高精度測定

Step5 出荷

全国のお客様へお届け

[管理部]

短納期の特別対応品は、受注日にお客様の指定寸法で加工し、翌日には全国へ発送する体制も確立しています。

精密な部品をお客様の指定通りの納期で確実にお届けできるよう、デリバリー体制を構築しています。



毎日数百件の出荷処理



自分が加工した部品を使った製品の活躍がやりに。

第1製造部
製造1課
製造第1係

おぼら なおや
小原 直也さん (2020年入社)

自動車やエアコンなど、量産部品の規格に合わせて加工機械に数値を入力する、寸法管理を担当しています。一日を通してミスなく業務を終えられた時には、達成感があります。また、作った部品が使われた自動車を、街中で見かけたときもうれしいです。より作業負担を減らせるように、今後は機械のプログラム作成などにも挑戦したいと思っています。

入社時に、先輩にいろいろ相談しやすい環境だと感じました。今は私も新人教育を担当しているので、積極的に声を掛けるようにしています。新入社員が一人で悩まないよう、先輩社員が支えるメンター教育制度もあるので安心です。



確かな性能確保へ
欠かせない役割担う。

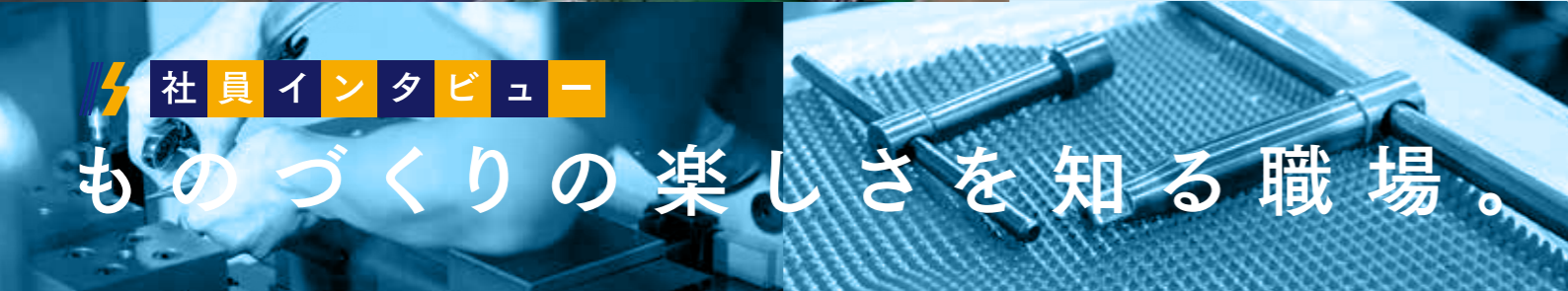
製造3課
製造第3係

りんざき みな
林崎 美菜さん (2018年入社)

出来上がった製品に傷や打痕などがないか、目視や拡大鏡を使用して確認する外観検査を担当しています。主に検査をしているのは配管用部品で、少しの傷が水や油の漏れなど製品の性能にも影響するため、大切な作業です。

自分の仕事が認められ、新しい業務を任せられたときには、すごくやりがいを感じます。新しい知識を覚えられる喜びもあります。今の目標は、検査と加工の仕事をどちらもできるようになることです。

未経験の方でも、ものづくりに興味がある人であれば活躍できる職場です。気軽に相談できる優しい人たちがたくさんいる会社なので一緒に働きましょう。



小林精機のこだわりのものづくりを支えているのは、思いをともに、一緒に働く仲間たち。未来を担う若手社員の皆さんに、小林精機の今を語っていただきました。



生産技術課
設備保全・改善係
しながわ まさと
品川 優人さん (2019年入社)

機械修理をする設備保全、製品の傷防止装置の組み立てや作業台作成などを行う、業務改善の仕事をしています。業務改善では、作業員一人ひとりに合わせて制作・調整するものもあるので「作業がやりやすくなった」と感謝されると嬉しいです。

実際に働いている現場の人しか分からないこともあるため、生産技術課の仕事はたくさんの声を聞くことが大切になります。部署が違って社員同士の仲がすごくいいので、皆さんに気軽に困り事を聞ける環境なのは、ありがたいです。

今後は、業務改善につながる装置を自ら設計したり、加工の仕事にも挑戦したいと思っています。



気軽に困りごとを聞ける環境が働きやすさ。



自社開発、大学との連携、
独創技術を追いつける

昭和63年、当時では珍しい研究開発型の協同組合として異業種5社(現在6社)で発足したテクニア岩手協同組合への参画が、当社の研究開発事業の推進力となっています。

平成24年には、東北大学がいわて産業振興センターなどと連携して開発した高性能コバルト合金「COBARION®」の切削加工研究に携わりました。当初は医療分野向けに開発された合金でしたが、医療用に留まらず、一般産業向けの実用化も一部で実現しました。

現在は、これまで培ったメカトロ技術をスマート農業に活用し、岩手県工業技術センターと共同で小型の播種機の開発を行っています。また、岩手大学と共同で切削キズを画像解析するシステムの研究開発も進めています。

社員交流ができるイベントを開催

毎年恒例の夏まつりでは、BBQやかき氷、スイカ割りやくじ等で大盛り上がり。子どもたちも暑さには負けず、大はしゃぎです。



『もっと良いやり方がある』
業務改善

小集団活動発表会では、グループ単位で改善活動を行い、成果を発表しています。個人での改善活動も盛んです。

